

あいさつ運動の好事例

玉野市立山田中学校

(児童数 102 名 教職員数 9 名)

笑顔がつなぐ心の輪
～ Heartful Smile でスタートしよう～

アピールポイント

毎日立つ教員と、生徒会と保護者が日を変え場所を変えて立つことで、生徒があいさつをする機会を増やしています。

「笑顔であいさつ」をモットーにした結果、返す声も自然と大きくなり、それがふだんのあいさつにもつながり、来校される方から「気持ちのいいあいさつですね。」と褒めていただけるようになりました。

実際の様子



■児童生徒の実態

全校102人、各学年1クラスの小規模校で、上下関係もあまりなく、和気あいあいとした雰囲気が学校にあります。地域の方とのつながりも強く、保護者の方も生徒によく声をかけてくださいます。しかし、思春期に入るこの時期、最初はできていたあいさつができなくなる生徒がここ数年目立つようになっていました。

■活動内容

生徒会が週一度、曜日を決めて行っています。PTAも補導部が計画して、月一度のペースで、校門付近と地域に出での交通指導のかたわらあいさつ運動を行っています。また昨年からは、青少年健全育成協議会とも連携し、あいさつ運動ののぼりを掲げ、担任外の教員が毎日下駄箱付近で生徒を笑顔で迎えるあいさつ運動を行っています。「笑顔を心がけてあいさつをしよう。」をモットーにあいさつの回数を増やすようがんばっています。

■取組の参加メンバー

生徒会、中学校の保護者（全員）、担任外の教員で、日を変えて行っています。

■成果・効果

笑顔であいさつしていると、最初は声を返してこなかった生徒でも1月ほど経つと、自分からあいさつをしてくるようになり、人間関係づくりにも役だっています。授業前のあいさつや来客へのあいさつが自然とできるようになり、声も大きくなりました。学校全体の雰囲気がよくなってきていることを実感しています。